

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



みんなが地域医療の主人公

今月号では、地域医療の現状や医師不足といわれる三好市の現状、かかりつけ医を持つことのメリットについてご紹介します。

【お問い合わせ先】三好市役所保険医務課
電話 (72-7613)

三好市地域医療の現状

「地域医療の崩壊」という言葉がテレビなどでよく見かけるようになって数年が経過しています。全国的に地域医療の問題は、医師をはじめ医療スタッフの不足などの原因により地方における深刻な問題となっております。三好市においても同様です。

とりわけ東西祖谷・山城地区での医療資源が不足しており、高齢化が進む現在、病气やけがをした時、急に倒れた時など、安心して充実した医療が受けられるかが課題となっております。

なぜ「医師不足」といわれるのでしょうか？

医師の研修制度が平成16年4月に変更され、研修医が臨床研修を行う医療機関を自由に選べるようになりました。それによって大学に残る若手医師が減少し、大学が従来行ってきた地域医療機関への医師派遣が困難になっていくことが一番の要因といわれ

三好市内医療機関増減一覧

地区	病院			診療所		
	16年度	26年度	増減	16年度	26年度	増減
三野	3	3	0	1	1	0
池田	4	3	▲1	12	10	▲2
山城	0	0	0	5	2	▲3
井川	0	0	0	3	2	▲1
西祖谷	0	0	0	1	1	0
東祖谷	0	0	0	2	1	▲1
計	7	6	▲1	24	17	▲7

病院：20床以上の入院施設を有するもの

診療所：19人以下の入院施設を有するもの、または入院施設を有しないもの



何かあった時にすぐ相談できる「かかりつけ医」を持つことがあなた自身、また結果的に地域医療を守ることに繋がります。

- ① 待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単で、じっくり診察してくれる。
- ② 入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえる。
- ③ 家族の病状・病歴、健康状態を把握しているのも、もしもの時に素早い対応をしてくれる。
- ④ 食事面など日常の健康管理のアドバイスをしてもらえる。

ています。また、都市部に医師が集中することや診療科によって医師数が偏っていること、病院の勤務医が過酷な業務のため辞めてしまうことなども要因といわれています。

現在、三好市には6つの病院と17つの診療所(平成26年)の医療機関があります。平成16年には7つの病院、24の診療所の医療機関がありました。この10年ほどの間に病院1、診療所7の医療機関が減少しています。

「かかりつけ医」を持ちましょう

市民の方々、医療現場の方々、行政全ての人が三好市地域医療の主人公です。各々の役割を最大限に発揮し十分な医療が受けられ、安心して生活できる市になるよう努力していく必要があります。

また、国は急速な高齢化に伴う医療費の増加や医師・看護師不足に対応するため、従来の「一つの医療機関が診る」

体制から、日常の治療・健康管理はお住まいになる地域の診療所が、より専門的な検査や手術を含めた治療はそれが可能である病院がそれぞれ担う地域医療の機能分担と連携を図り、効率的で効果的な医療の提供を推進しています。

何でも気軽に相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心がけましょう。

□「かかりつけ医」のメリット



徳島駅伝
1/4 ~ 1/6

2年前(同コース)とのタイム比較

【三好市総合成績】44区間

第59回 15時間56分7秒
第61回 15時間53分5秒
↓3分2秒短縮

【中学生総合成績】15区間

第59回 2時間34分23秒
第61回 2時間33分18秒
↓1分5秒短縮

【女子総合成績】10区間

第59回 2時間7分12秒
第61回 2時間0分21秒
↓6分51秒短縮

新春に懸ける熱き戦い 第61回徳島駅伝 三好市は11位 躍進賞を受賞

新春の阿波路を駆け抜ける第61回徳島駅伝が、1月4日から3日間にわたり開催され、県内16郡市のランナーが健脚を競い合いました。

10位以内を目標に掲げレースに臨んだ三好市チームは、2年ぶりに採用された初日の南方那賀コースを10位と健闘。二日目は、「三好市」の呼びかけが立ち並ぶ地元区間を「一秒を削りだせ」の合い言葉を胸に力走。沿道から送られた温かい声援に、44区間268.2kmを経験のある一般選手と若い選手が世代を超えて襷をつなぎ、昨年の13位から順位を上げ、11位でゴールしました。

閉会式では躍進賞を受賞し、大会を終えた平尾昌彦監督からは「若手とベテランの力がうまくかみ合い、順位アップを果たすことができた。次回は8位入賞を本気で狙う」と感想が述べられ、第62回大会に向けさらなる飛躍を誓いました。